

～ あげつち商店街イベント事業 ～

商店街の中に祀られている「あげつちのお稲荷さん(稲荷神社)」に因んだ「きつねの嫁入り行列」を開催。450名が参加し、「きつねメイク」で商店街を練り歩いた。また「絵馬コンテスト」と絵馬の奉納も行い、伝統文化の伝承と商店街の知名度向上で若い世代の来街の増加につなげた。

所在地：静岡県沼津市上土町100-1
 TEL：055-962-3812 FAX：055-962-3812
 URL：<http://www.roy.hi-ho.ne.jp/i846/agetsuchi-s>
 組合員数：26名
 商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

沼津あげつち商店街振興組合は、JR沼津駅から南へ約500m、小売、飲食等が集まった全長150mの商店街。街区内の上土朝日稲荷神社を核にした催しが多く、毎月十五日に開く稲荷市、同神社に奉納する絵馬コンテストのほか、同神社で挙式する「きつねの嫁入り行列」は、恒例行事として地域に定着している。しかし周辺にできた大型のスーパーや複合施設の影響から郊外からの客足が減り、店主の高齢化や後継者問題も深刻で、活性化のための対応が急がれている。



実施した事業の概要

①きつねの嫁入り行列

花嫁花婿や約450名の参加者全員がキツネ風の化粧を施し、神社での挙式や嫁入り行列を練り広げた。6回目となる今回は、新たに高校生や大学生が計画段階から参画し、きつねの嫁入りがテーマのダンスを披露する等の若者らしいアイデアを盛り込んだ。また広報は従前のチラシ・ポスターに加え、「きつねの嫁入り行列」特設サイトを作成し、広く情報発信した。

花嫁は狩野川の下流から渡し船や人力車に乗り、朝日稲荷神社で待つ花婿と神前で挙式。行列は2人が乗った人力車の後にかみしもや法被姿の地域住民らが続き、太鼓や拍子木も行列に加わり、来街者から祝福を受けながら賑やかに商店街を巡った。イベントの様子は地元メディアでも紹介され、組合員店舗は顧客とこの話題で盛り上がった。

②第30回絵馬コンテスト

市内の幼稚園や保育園、さらに今回は地元高校の美術部にも来年の干支にちなんだ神社への奉納絵馬を募集。536枚の応募作品から賞を選んで表彰式を行い、受賞者56名の園児とその家族約150名が出席した。また応募全作品を商店街の13ヶ所に展示し、園児の家族や来街者の目を楽しませた。さらに商店街内のイルミネーション装飾と併せ、「絵馬コンテスト」や「きつねの嫁入り行列」の様子をビルの壁面に映写し、夕暮れ時からの来街を促進した。



成果と成功の要因



両イベントとも地域密着、地域資源の活用、伝統文化の伝承をコンセプトに恒例行事として定着。「絵馬コンテスト」は、市内の幼稚園や保育園、高校生から出品を募り、「きつねの嫁入り行列」は、地元の自治会や子供会、神社稲荷会、高校と連携するなど幅広い層の支持を得て、商店街の認知度向上や誘客にもつながっている。いずれも継続開催だが、改善や新規の要素を加えることで参加希望が年々増加。商店街の若手・女性が「きつねメイク」や行列への参加、進行、広報、絵馬の取付・撤去、表彰式の進行を担うなど、一丸となった取り組みで成果を上げている。

今後の取り組み

「きつねの嫁入り行列」では、今回初めて計画段階から高校生や大学生が参画し、事業に新風が吹き込まれた。イベント後も商店街の個店やカフェに立ち寄る若者の姿が目立つようになり、手応えを感じている。空き店舗対策でも、来街が増えつつある若者向けの店舗誘致等を進め、後継者問題とともに課題の克服を目指す。また恒例の「絵馬コンテスト」「稲荷市」「ナイトマーケット」にも新規の要素を加えながら、地域に根付いた話題性の高いイベントとして継続し、商店街への誘客と組合員店舗の売上向上につなげて行く。